

# Nursing Mate



病を“治療する”のではなく  
“予防する”クリニックを

河村循環器病クリニック

## 施設DATA

### 【施設の概要】

- ・所在地：〒657-0832 兵庫県神戸市灘区岸地通5-3-9
- ・ホームページ：http://www.kawamura-cvc.jp/
- ・職員：医師，看護師，健康運動指導士，事務員
- ・診療科：循環器科，心臓血管外科，リハビリテーション科

### 【診療内容】

- ・内科一般
- ・循環器内科・心臓血管外科：不整脈外来，ペースメーカー外来
- ・生活習慣病管理指導プログラム：メタボリックシンドローム，高血圧，高脂血症，糖尿病
- ・健康運動指導士による運動リハビリテーション（予約）：血圧・心電図モニター下における安全な運動トレーニング，生活習慣病管理指導プログラムの効果判定トレーニング
- ・禁煙外来
- ・健康診断（予約）：生活習慣病予防対策コース，心筋梗塞予防対策コース，脳梗塞予防対策コース
- ・医療相談（セカンド・オピニオン）（予約）



## 診療形態

診療は木曜，日曜，祝日を除いて，毎日午前9～12時，17～19時の間で行われている。土曜は全日（9～17時）予約制。また，平日の13時30分～16時30分も完全予約制となっている。

## 私たちのなんでも Best 3

河村先生のちょっと気になる最近の医療ニュース

**1位** 2005年4月に国内8学会合同で内臓脂肪蓄積によるメタボリックシンドロームの疾病概念が発表された。

**2位** 社会保険庁の調査研究：高血圧，糖尿病，高脂血症，肥満の4項目以上の人，10年後の医療費が3倍に。

**3位** 厚生労働省大規模調査：魚を週8食食べる人は，1食しか食べない人に比べて心筋梗塞の発症が60%減少。

これが噂の檀家ホスピタル???



河村先生が誇る、運動負荷試験装置（トレッドミル1台と自転車エルゴメーター3台）。写真のように、奥は全面窓となっており、開放感にあふれている。



河村先生がいくどとなく口にする、「檀家ホスピタル」の説明の際に役立つ、河村家の病歴家系図、それぞれ、何歳のときに何の疾患で死亡したかが示されている。お寺では檀家があり、先祖の家系図が作られているが、生活習慣病の予防には自分の先祖の病歴家系図が役立つ。河村先生によると、自分の両親と祖父・祖母までの死亡原因を知っておくと、かかりやすい病気を予測して予防することができるとのこと。そこで河村先生は、自分の先祖の病歴を知ること推奨するとともに、家族が代々かかることのでき、家族の病歴を把握したかかりつけ医（檀家ホスピタル）を持つことも勧めている。

本誌で17年も続く連載、「ハートでイングリッシュ」の執筆者としてもおなじみの河村剛史先生が、2005年5月、神戸市灘区に河村循環器病クリニックを開院した。河村先生はこれまで、大学の胸部外科・兵庫県立姫路循環器病センターの救急救命センター・兵庫県立健康センター勤務などを経験し、“命を救う”という根本的な目的は常に変わずとも、その鋭いアンテナでさまざまな視点に立って循環器疾患と向き合ってきた。河村循環器病クリニックの開設には、河村先生の、「今後は治療よりも予防に重点を置くべきである」という強い意志が込められている。今回は、先生を含めてスタッフはわずか4人

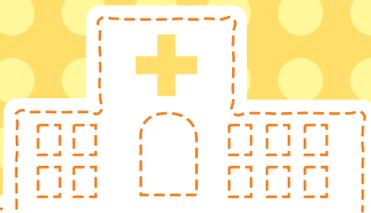
だが、患者の立場に立った医療を提供する、河村循環器病クリニック取材した。

### 個々と向き合う姿勢で

当クリニックは、開設の際から予防を中心とした医療を全面に打ち出してきた。患者の多くは、すでに生活習慣病を抱えていてこれからどう付き合っていけばいいかと思っている人、中高年期に差しかかってきて生活習慣病を回避した

いと望んでいる人、また、禁煙したい人など、ただ診察して薬を処方するだけでは解決に至らない。生活習慣病予防には本人の意思が一番重要となる。それには自分の体について適切な知識を持ち、生活習慣病の危険性を理解したうえで日々の生活を送らなければならない。それだけに患者一人ひとりに合わせた対応が必要といえる。

河村先生は、危機的状況ではないだけにゆるみがちになる患者を、



カウンセリングや、状態がひと目で分かる血液検査 (MC-FAN)、トレッドミルやエルゴメーターを用いた運動負荷検査など、さまざまな方法を駆使して生活習慣病対策に取り組む方向に向かわせる。個性を反映したプログラム作りの効果が大きいですが、それは多様な人生経験を積んできた、患者とほぼ同年齢である河村先生だからこそなせる技ともいえる。

**充実のIT環境と  
こだわりの室内環境**

現在、当クリニックには、通常、一般病院で使用されるようなIT環境が成立している。院内には大容量のデータでもすぐに送受信でき、万全のセキュリティ対策がとられたイントラネットが構築され、先生自身複数のホームページ\*を管理して外部への啓発にも努めている。特筆すべきはクリニック内で用いられている電子カルテで、常に個々の患者の検査データが閲覧できるが、それは画像、動画問わずすべてのデータにおいて可能だということである。データを紙で保存する時代は過ぎ、個人情報などのセキュ



クリニックでは、患者さんは診察の前に自分で血圧を測るシステムになっている。



西海さんが重宝する机周り。このカーブ具合がとても使いやすいそう。



マグネシウムは自然のCa拮抗薬だとして、海洋深層水の摂取を強く勧める河村先生は、取材中もごくごく……。



血液がドロドロかサラサラかが一目瞭然のMC-FAN。患者さんからも好評で、河村先生が以前の職場から8年も愛用の機器。

リティについても以前とは比べものにならないほど慎重になってきている現代で、この先進的すぎるように思われるIT環境は、河村先生の患者指導において大きな手助けとなっている。

また、室内環境にも注目すべき点が多い。看護師の西海尚子さんお気に入りの、採血などで使用される机は河村先生のアイデアで作られている。転倒予防と見た目の両方の観点から設置された50箇所のコントラクトは、無駄なコードを室内に氾濫させない。このように、

細部にまで先生のこだわりが表れているのも特徴の一つといえよう。



生活習慣病になった患者を手術や薬剤で救うのではなく、まず生活習慣病にさせない、または悪化させないという予防医療を掲げて開院された当クリニックは、明らかに一歩進んだ医療を提供していると感じられた。それだけに、開院してまだ一年に満たない河村循環器病クリニックの今後の展開が注目される。

(ハートナーシング編集室・深見佳代、井奥享子)

\*現在河村先生が管理しているホームページは以下の3つ。  
河村循環器病クリニック <http://www.kawamura-cvc.jp/>  
健康スポーツ関連施設連絡協議会 <http://www.health-jp.net/>  
ひょうごvirtual健康科学センター <http://www.hyogohsc.or.jp/>



院長  
かわむらつよし  
河村剛史先生

医学部を卒業した1972年、東京女子医科大学日本心臓血圧研究所では術後管理をコンピュータで行っている記事を読み、心臓外科を目指すならこの病院しかないと感じ、WPW症候群などの不整脈外科を専攻しました。榊原 任教授の教えは、手術の腕を磨き、患者に接する心を説いた「鬼手仏心」でした。

米国留学中にバレーボールのハイマン選手が試合中に倒れるテレビニュースを見た同僚から、「なぜ、日本人は心肺蘇生を行わないのか」と批判を受けたことがきっかけとなり、1987年の帰国後、市民に対する心肺蘇生法の普及啓発に力を注ぎました。私は心臓突然死の救命を目指して、外科治療、救急医療、予防医療の各分野を渡り歩いたことになりました。

「健康は、自らを知る、生きる喜び」、「病気の不安より、自己管理法による安心への手ごたえ」がクリニックの理念です。



看護師  
にしうみしょうこ  
西海尚子さん

スタッフは四人で、そのうち看護師は一人ですが、疑問に思ったことや改善点などすぐに意見交換ができるのはスタッフが少ないことの利点だと思います。また、同じ目標に向かって進んでいきやすいですね。今まで、一般病院や救命救急センター、保健検診センターなどで経験を積んで河村循環器病クリニックに来ました。時間的にゆったりしていて一人の患者さんと長くかかわることができ、よくなった喜びまで分かち合えるというのが、以前の職場との一番の違いです。

循環器病は生活習慣と密接にかかわっているので、詳しく生活習慣や家族歴などを聞く必要があるのですが、それを基に、具体的に改善方法などを患者さんと一緒になって考えていけるのが循環器看護の魅力だと思いますね。患者さんとは治療に専念できるよう常に明るく接するとともに、五感を働かせて、患者さんの状態をトータル的にみていきたいと思っています。



健康運動指導士  
いしうみひろゆき  
巖 裕之さん

健康運動指導士の役割は、健康増進のため、安全かつ効果的な運動指導を行うことです。この資格を取ったのは、小さいころから体を動かすことが好きで、自分自身小学校4年のころから14年ほど続けた体操競技の経験があったからです。やはり競技中はけがなどもあって、痛みを抱えながら競技を行っていたこともあり、そのときに健康な運動、生涯スポーツは大切だと感じました。健康運動指導士の資格をとって4年ですが、健康スポーツ関連施設連絡協議会での研修会やシンポジウム、健康運動指導士単位更新のための研修会などで、日々学習は欠かさないようにしています。

クリニックは患者さんと医師と健康運動指導士（インストラクター）三位一体の連携があるところ、また、マグネシウムの重要性に伴う水分補給の推奨などが他施設と違うところだと思います。ハード面では開放感があり、ソフト面では河村先生を始めとするスタッフ全員がとにかく明るいですね。



事務員  
かわむらひさこ  
河村久子さん

会計と受付を担当しています。スタッフの人数は少ないですが、各人が責任を持って各部署の仕事に取り組んでいます。完全に院内がIT化されているというのは、初めての経験で難しいところもありますが、逆に書類整理の必要がなく、事務所がコンパクトになってよいと思います。

いろいろな患者さんがいらっしゃいますが、会社のオーナーで従業員全員まで来院させて健康に留意している方や、高齢になっても夫婦で旅行を楽しみたいからと50代の今から関心を持って積極的に運動されている方などが印象深いですね。また、患者さんには丁寧に、そして明るく接するよう心掛けています。

当クリニックは予防医学を中心に、定期的に来られる方が多いのですが、先進的な分野で、これからが発展途上だと思います。（河村先生は）自身の健康を過信するところがあるので、健康には十分気を付けてほしいと思います。